Platio ミニアプリテンプレートガイド

アルコール検査記録

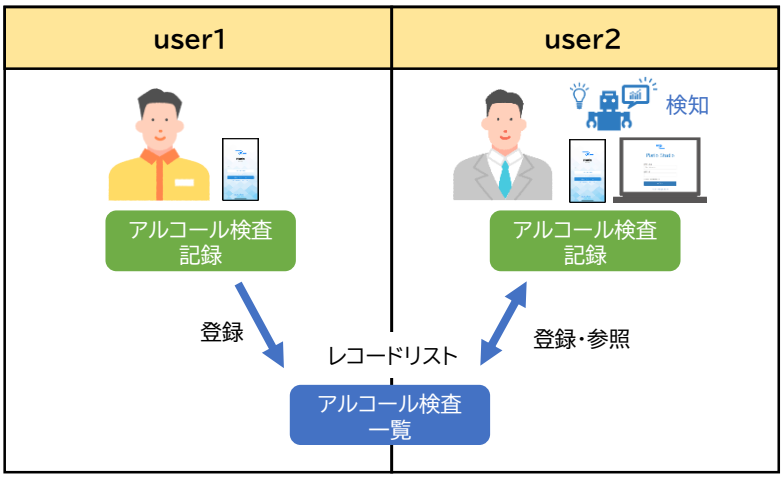
社用車を運転する前後のアルコール検知結果を記録するためのテンプレートです。

運転者の酒気帯びの有無の確認結果を運転する前後で記録します。酒気帯びの情報が記録されると、安全運転管理者へプッシュ通知でお知らせします。

利用の流れ

① 運転者(**user1ユーザー**)は[アルコール検査記録]データポケットに確認者、検査タイミングや車両番号、検査方法、検知器使用の有無、酒気帯びの有無を入力して保存します。運転者は自分のレポートのみが表示されます。酒気帯びの有無のスイッチをオンにすると、保存時に自動で管理者へプッシュ通知が送信されます。

② 安全運転管理者(**user2ユーザー**)は[アルコール検査記録]データポケットに確認者、検査タイミングや車両番号、検査方法、検知器使用の有無、酒気帯びの有無を入力して保存します。すべての運転者のアルコール検査記録を確認するには、[アルコール検査一覧]データポケットを使用します。必要に応じて、検査結果をデータビューアーでCSVまたはExcel形式でエクスポートして参照できます。



データポケット

名前	種類	利用するユーザー
アルコール検査記録	主	user2 user1
アルコール検査一覧	副	user2

ユーザー/プロファイル

名前	管理者	プロファイル	プロファイルで利用できるデータポケット
user2	✔	安全運転管理者	全データポケット
user1		運転者	アルコール検査記録

【テンプレートの特長キーワード】

副データポケット　検知　プッシュ通知　絞り込み　一覧シーンの表示フォーマット　初期値

(c)1998-2023 Asteria Corporation

◆ アルコール検査記録データポケット［主］

運転者が酒気帯びの有無を入力して保存します。酒気帯びの有無がオンのときに保存時に自動で管理者へプッシュ通知されます。

フィールド	型： ［プロパティ］別データポケット参照先	［プロパティ］ 同データポケット参照先
日時	日時	
運転者	ユーザー	
確認者	ユーザー	
検査タイミング	テキスト選択	［値］ 運転前／運転後
車両番号	テキスト	
検査方法	テキスト選択	［値］ 対面／電話・無線／カメラ・モニター／その他
その他検査方法	複数行テキスト	［条件付き表示］ “条件” 検査方法がその他の場合のみ表示
検知器使用の有無	スイッチ	
検知器の数値	数値	［条件付き表示］ “スイッチフィールド” 検知器使用の有無
酒気帯びの有無	スイッチ	
指示事項	複数行テキスト	
その他特記事項	複数行テキスト	

◘ 検知「酒気帯び検知」

酒気帯びの有無がオンに設定された場合にプッシュ通知を送信します。

項目	値
種類	式
データポケット	アルコール検査記録
式	酒気帯びの有無フィールド == true
通知方法	プッシュ通知
ユーザー	全ての管理者ユーザーに送る
件名	酒気帯び検知のお知らせ
本文	(フィールド)運転者、検知器の数値

※ 検知「酒気帯び検知」が不要の場合は、Platio Studioの「検知」より削除ください。
※ 削除の詳細については、「Platio Studio ガイド」 71ページの「11. 検知」を参照ください。

◆ アルコール検査一覧データポケット［副］

すべての運転者のアルコール検査記録を確認することができます。

操作手順

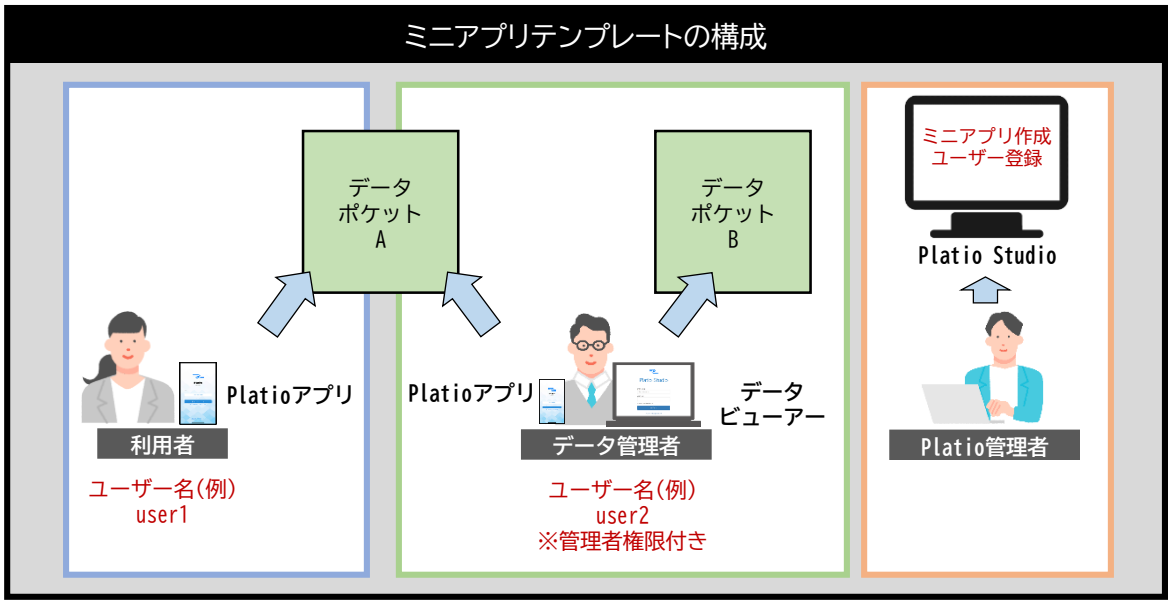
利用の流れ

① ［事前準備］ **Platio管理者**が、Platio Studioにアクセスしてミニアプリを作成してデータポケットを使用するユーザーアカウントを登録します。

② **データ管理者**は、PCのWebブラウザからデータビューアーにアクセスしてデータポケットのレコードを管理できます。

③ **利用者**は、Platioアプリからミニアプリにログインして データポケットにデータを作成・編集します。

ユーザーは、データビューアーとPlatioアプリへログインできます。（データビューアーへのログインを許可しないようにすることもできます。）



Platio Studioでミニアプリを配布

ここでは、「**勤怠連絡**」テンプレートを例にミニアプリの作成からPlatioアプリユーザーへの配布までをご説明します。
Platioの無料トライアルの申込み、利用の流れについては「スタートアップガイド」をお読みください。

Platio管理者が、**Platio Studio**でミニアプリを作成します。

Platio Studio

● Platio Studioへログイン
https://studio.plat.io/

ログイン後の画面で、右上の「ミニアプリを作成」をクリックして進めます。

※ アカウント情報はトライアル申込み時に送られてきたメールをご確認ください。

● ミニアプリを作成
ミニアプリを作成するウィザードで、ミニアプリテンプレートを選択します。

右下の「テンプレートを選択」をクリックし、表示されたミニアプリの作成画面でミニアプリの名前を任意に編集して、ミニアプリを作成します。

● サンプルのユーザーを追加
ユーザーをそのまま使う場合はユーザーの名前とパスワードをメモしておきます。
ここで作成するユーザーはサンプルとして動作確認に使います。モバイルアプリの動作確認の後、引き続き使うこともできますし、削除して新規にユーザーを追加することもできます。
ここでユーザーを追加すると、登録したメールアドレスに招待メールが届きます。届いたメールは保存しておいてください。なお、招待メールの送信を中止することはできません。

● ミニアプリの作成を完了
「完了」をクリックすると、作成したミニアプリのデータポケット一覧が表示されます。

※ ミニアプリを作成・編集して利用可能な状態にすることを”配布”といいます。

これで、ミニアプリを作成・配布し、アプリユーザーの登録が完了しました。

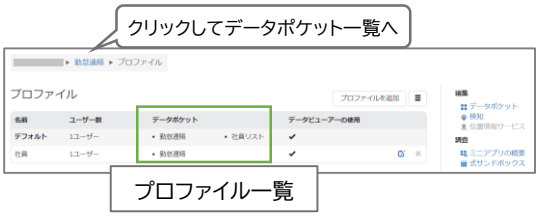
Platio Studioでミニアプリのユーザーとデータポケットを確認

● ユーザーを確認
データポケット一覧で右メニューの「ユーザー」をクリックしてユーザーを確認します。

端末のPlatioアプリへログインするユーザーの一覧です。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。

● プロファイルを確認
「プロファイル」をクリックしてプロファイルを確認します。



各プロファイルが設定されたユーザーが利用可能なデータポケットを確認できます。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。

● データポケットを確認
データポケット名をクリックして、データポケットのレコード内容（各フィールド）を確認します。

上部で、データポケットの各フィールドを確認します。

下部で、Platioアプリで表示されるシーン（画面）をプレビューでき、シーンの各種設定を行います。

以上で、ミニアプリの確認は完了です。

次は、データビューアーへログインする手順を説明します。

データビューアーへのログインを確認

データビューアーは、データポケットのレコード管理をPCのWebブラウザから行うツールです。

データビューアーへは、主に管理者のユーザーでログインします。

【Platio Studio】

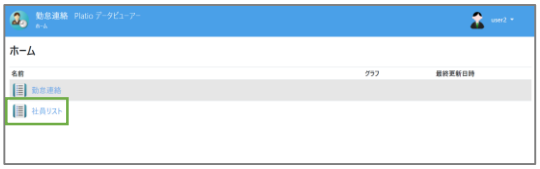
Platio Studioの「データビューアー」のリンクからミニアプリの**データビューアー**へアクセスし、ログイン画面からログインします。

PCのメールソフトで招待メールを受信して、本文のリンクからもアクセスできます。

【データビューアー】

ブラウザの新しいタブに**データビューアー**のログイン画面が表示されます。
ユーザー情報を入力してログインします。

※ Platio Studioユーザーではなく、Platioアプリのユーザーでログインします。



データポケット一覧でデータポケット名をクリックします。

データポケットのレコード一覧画面が表示されます。
右上の「作成」または「インポート」からデータを登録できます。

※ インポートではあらかじめCSVの形式でファイルから登録することができます。

「インポート」をクリックして表示されたレコードのインポート画面で、インポートできるCSVの形式が確認できます。

以上で、データビューアーの確認は完了です。

次は、Platioアプリを使う手順を説明します。

サンプルユーザーでアプリを使ってみましょう

利用する端末に**Platioアプリ**をインストールしてください。
インストールについては「スタートアップガイド」をお読みください。
https://plat.io/ja/support/guide

サンプルユーザーでPlatioアプリを使ってみましょう。
ユーザー情報はPlatio Studioのメニュー「ユーザー」で確認できます。

メール画面

ユーザーを追加したときに指定したメールアドレスに招待メールが送信されています。
届いた招待メールの本文にあるミニアプリのQRコードを**Platioアプリ**で読み取ります。

端末のPlatioアプリを起動して「QRコードをスキャン」をタップしてQRコードを読み取ります。

または、以下のように**Platio Studio**のサイドメニューのアプリリンクからもQRコードを表示できます。

メール画面　　Platioアプリ

Platioアプリと同じ端末でメールを表示した場合、ミニアプリ名のリンクをタップするとPlatioアプリが起動してミニアプリのログイン画面が表示されます。

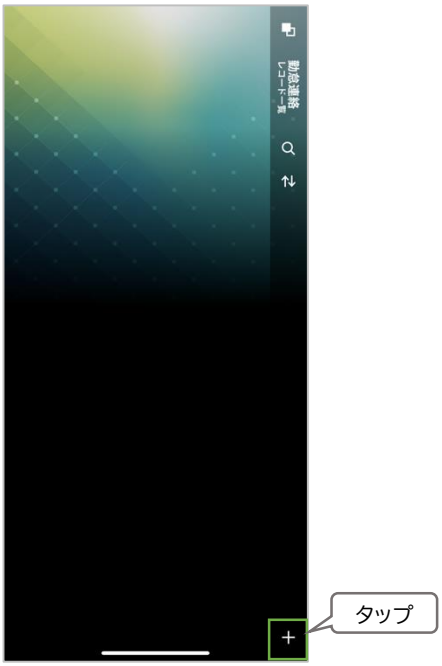
Platioアプリでミニアプリのログイン画面が表示されます。

ユーザー情報を入力してログインします。

Platioアプリ　<各種シーンと操作>

Platioアプリにログインすると、Platio Studioで指定された最初のシーンが表示されます。
表示されるシーンは、ミニアプリごとに異なりますが、入力シーンまたは一覧シーンが表示されます。

● 一覧シーン
何も表示されない場合は、登録されたレコードが無い状態です。
レコードを入力するには、右下の「＋」をタップします。



● 入力シーン
データを入力する各フィールドが表示されています。
入力したデータを保存するには、右下の「✔」をタップします。

● シーンを閉じる（前に戻る）
シーンを閉じるには、タップしながら上から下にスライドします。

● 入力をキャンセルする
シーンを閉じるには、上から下にスライドして表示された「×」をタップします。

Platioアプリ　<一覧シーンで検索・並び替え>

● 一覧から検索
検索アイコンをタップします。
検索ワードを入力するか、またはタップして表示される定義された検索条件をタップすると、検索した結果の項目が表示されます。

※ Platio Studioで検索可能と設定したフィールドが検索できます。

● 一覧を並び替え(ソート)
ソートアイコンをタップします。

並び替えできる項目が表示されます。昇順・降順のアイコンをタップすると、並び替えて表示されます。

※ Platio Studioでソート可能と設定したフィールドが検索できます。

データポケットやミニアプリの設定を変更したい

データポケットにフィールドを追加したりPlatioアプリでの見た目を変更したり、ミニアプリに機能を追加したり、ミニアプリを編集することができます。
初めてPlatioを操作するときは「**Platioスタートアップガイド**」をお読みください。

◆ **Platioスタートアップガイド**
はじめてPlatioをお使いになる方向けの、Platioの概要とPlatioを使いながら全体の流れを説明するガイドです。
[Platioヘルプセンター]の「はじめての方へ」をクリックして「①Platioって？」からご覧いただけます。
https://help.plat.io/hc/ja

◆ **ノーコードツール学習サイト「NoCode Gate」**
Platioの操作を動画で学べます。
https://nocodegate.asteria.com/

Platioに関するお問い合わせ:[お客様ログイン]からお問合せフォームにてお問合せください。
https://asteria.com/mng/login

Platioのお役立ち情報、ご利用ガイド、よくあるご質問:[Platioヘルプセンター]
https://help.plat.io/hc/ja

Platioに関する情報(事例、リリース情報など):[製品サイト]
https://plat.io